

ローカル鉄道応援酒 “鉄の道”フォーラム

2012. 6. 30 13:30~16:30

会場 日本交通協会

主催 一般社団法人 洸楓座

共催 株式会社 テックデザイン

後援 一般社団法人 日本交通協会

日本地酒協同組合

非営利活動法人 ふるさと交流倶楽部

次第

- イン트로ダクション（5分）
山川建夫（元フジテレビアナウンサー）
- 洸楓座の取組みの紹介（10分）
佐藤建吉（洸楓座 代表／千葉大学 准教授）
- ローカル鉄道の意義～水間鉄道の取組みから～（30分）
関西佳子（水間鉄道 代表取締役）
- 伝統としての日本酒とその魅力（30分）
佐藤彌右衛門（大和川酒造 代表社員）
- 高校生による「鐵の道」揮毫の活動事例（15分）
～秩父鉄道・武甲酒造のラベルデザイン～
関根 武（秩父農工科学高校）
- 試飲と座談会（60分）
参加者全員

鉄道を基軸とした
地域活性化

一般社団法人 **洸楓座**

「鉄の道」プロジェクト

洸 楓 座

[http:// http://www.kofuza.jp/](http://http://www.kofuza.jp/)

一般社団法人 ^{こう ふう ざ} 洸楓座

再生可能エネルギー(自然エネルギー)を
推進する団体

オルタナティブ

洸 水力 & 太陽光
楓 バイオマス & 風力
座 地熱 & 人(human power)

木火土金水(もっか、ど、こんすい)

都市の中にもっと風車を・・・



銚子駅前にウェルカムゲート

都市の中にもっと風車を・・



街に風車を！ 風力電気で携帯電話器を充電するクロスゲート（千葉大学）



内閣府 地域社会雇用創造事業
社会的企業人材創出・インターンシップ事業
「地域カーボン・カウンセラー」養成講座

再生可能エネルギー(風力)

<http://carbon-academy.org/course>

水力

太陽光

バイオマス

風力

一般社団法人
カーボンマネジメント・アカデミー

一般社団法人

洸楓座

ヒューマンパワー

地熱

佐藤建吉(千葉大学 & 洸楓座)

再生可能エネルギー利用を進める
人の集まり



再生可能エネルギー活用セミナー

九都県市首脳会議 環境問題対策委員会

<http://www.tokenshi-kankyo.jp/seminar/seminar.html>

『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業 房総横断鉄道沿線のエコミュージアム環境整備



いすみ鉄道



相補相成



小湊鉄道

房総横断鉄道

地域資源 × 誇り



『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業 房総横断鉄道沿線のエコミュージアム環境整備

【21年度】
「地域再生システム論」
千葉大学で講義
千葉県
地元役場
鉄道会社
観光専門家
鉄道専門家
地元出身大学生の
学生による活性化提案



『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業 房総横断鉄道沿線のエコミュージアム環境整備

【21年度】

「エコミュージアム」
という概念の流布

地域での鉄道への思い

話題向上

活動の認知



『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業 房総横断鉄道沿線のエコミュージアム環境整備

【22年度】

活動① エコミュージアム・
キュレーター、コンシェルジュ、
ガイドの養成と実践、発信

活動② Win-Win観光の具
現化と発信

活動③ エコミュージアム・ア
クセスモビリティの確保



フォーラム「地域を活かすエコミュージアム」(11/14)



電気自動車による社会実験(11/10~14)



『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業 房総横断鉄道沿線のエコミュージアム環境整備

【22年度】

Win-Win 地産品

いすみ鉄道応援酒『鉄の道』



『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業 房総横断鉄道沿線のエコミュージアム環境整備

【22年度】

Win-Win 地産品

いすみ鉄道応援酒『鉄の道』

全国共通銘柄

ローカル鉄道応援酒

- ・鉄道ファン
- ・日本酒ファン
- ・書道ファン



The screenshot shows the Chiba TV website with a Christmas special banner at the top. The main content area features a news article titled "いすみ鉄道に応援酒「洗楓座」提案で実現" (Sake for Isumi Railway supported by 'Shinkuza' proposal, realized). The article, dated December 14, 2009, describes a project to create a sake brand 'Iron Road' (鉄の道) to support the Isumi Railway. It mentions that the project was initiated by a proposal from 'Shinkuza' (洗楓座), a group led by Tadahisa Saito (佐藤達彦), a part-time professor at Chiba University. The article also notes that the sake is produced by Kikyo Brewery (木戸泉酒造) in Isumi City. A photo shows Saito and the railway's president, Torii (鳥塚), holding a bottle of the sake. The article concludes with the goal of selling 1400 bottles of the sake, with a price of 1400 yen per bottle, and provides contact information for the project.



『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業 房総横断鉄道沿線のエコミュージアム環境整備

【22年度】

今後の予定

サイモンズポイントカードシス
テム導入(2月12日)

キュレーター、コンシェル
ジュ、ガイドによる房総横断
鉄道沿線文化財発見ツアー
(2月14・15日)

＋
食材・食膳マップ

高校生学習支援
地産品リリース(製作中)



『新たな公』によるコミュニティ創生支援モデル事業 房総横断鉄道沿線のエコミュージアム環境整備

地域資源の再発見

- ⇒ 自信と誇りの定着
- ⇒ 来訪者を歓待する気持ち
- ⇒ 豊かな地域を醸成

地域活性化の原点

「地域reづくり」

地域活性化のための「状況づくり」

ひとづくり

担い手としての人材
核になる人財の養成

大学のサテライトラボ、ワークプレイス
将来につながる地域再生、地域活性化
地域と人、歴史と風土、特質を活かした
経済・観光・エコミュージアムの達成

「鉄道を主軸とした地域づくり」
「地域が鉄道を守る気運」



ローカル鉄道の廃線

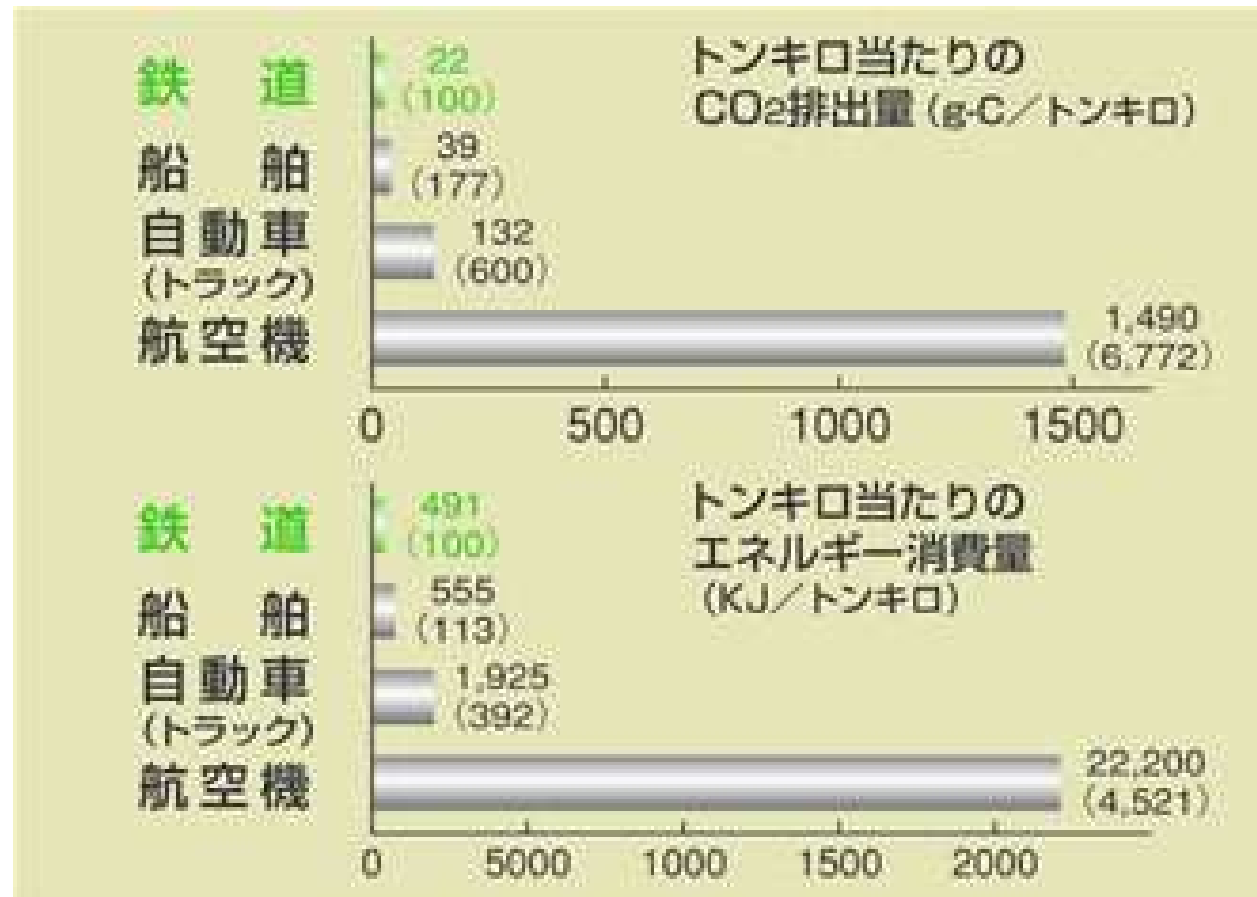


鉄道は地域の自慢

- 鉄道は、
お父さんもお母さんも、買ってくれないもの。
- 鉄道は、自分の走る道を持っている。
- 鉄道は、踏切で自動車を止める偉い存在。

地球環境に悪い影響を与えない「鉄道」

- 鉄道
- 船舶
- 自動車
- 飛行機
(航空機)







鉄の道クラブ

ローカル鉄道 応援サイト

応援酒「鉄の道」でローカル鉄道をすくえ!!



お知らせ

「鉄の道」とは

沓楓座の
取り組み

リンク



「鉄の道」とは

「鉄の道」は、ローカル鉄道を支援する目的で開発されました日本酒の銘柄です。

「鉄の道」は、NPO活動をする洸楓座(こうふうざ)による国土交通省の「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業「房総横断鉄道沿線のエコミュージアム環境整備」により誕生しました。

乗客増を目指すローカル線と、その地元にある酒造会社に働き掛け、「鉄の道」を共通銘柄として同様の企画を全国で展開していく考えです。



いすみ鉄道



木戸泉酒造(販売元)

アイガモ有機肥料で作られたいすみ産米を用いた純米酒で「味のしっかりしたうま口に仕上がった」と莊司社長が語っています。ラベルの『鐵の道』は現代書家の渡邊麗氏の揮毫によります。

720ミリリットル／1400円(税込)。

お問い合わせ

木戸泉酒造株式会社 TEL：0470-62-0013

水間鉄道



井坂酒造場(販売元)

地元大阪泉州のお米と名水を100%使用するこだわりの“大阪もん”純米酒で、芳醇な香りとさわやかな飲み口、独特のコクが特徴です。ラベルの題字は、テレビの人気時代劇として一世を風靡した「必殺シリーズ」のタイトルロゴを書かれた、泉佐野在住の書道家、糸見溪南先生に揮毫していただきました。

720ミリリットル／1300円(税込)。

お問い合わせ

井坂酒造場 TEL：072-479-0074

水間鉄道

鐵の道

水間鉄道応援酒



井坂酒造場(販売元)

地元大阪泉州のお米と名水を100%使用するこだわりの“大阪もん”純米酒で、芳醇な香りとさわやかな飲み口、独特のコクが特徴です。ラベルの題字は、テレビの人気時代劇として一世を風靡した「必殺シリーズ」のタイトルロゴを書かれた、泉佐野在住の書道家、糸見溪南先生に揮毫していただきました。

720ミリリットル/1300円(税込)。

お問い合わせ

井坂酒造場 TEL : 072-479-0074

三陸鉄道



福来(販売元)

地元久慈市の酒造好適米「ぎんおとめ」100%を、福来社内の「招福の水」で仕込み、やや辛口でうま味のある純米酒に仕上げられています。ラベルは、北リアス線が走る県北沿岸部の地図を入れ、地元の書家が揮毫(きごう)し、全線復旧の願いを込めて「鐵の道」の3文字は、すき間なく繋げられています。

720ミリリットル/1300円(税込)。

お問い合わせ

福来 TEL : 0194-56-2221

リンク

- [いすみ鉄道株式会社（千葉県大多喜町）](#)
- [木戸泉酒造株式会社（千葉県いすみ市）](#)
- [水間鉄道株式会社（大阪府貝塚市）](#)
- [井坂酒造場（大阪府岸和田市）](#)
- [三陸鉄道株式会社（岩手県宮古市）](#)
- [福来（岩手県久慈市）](#)

- [しなの鉄道株式会社（長野県上田市）](#)
- [沓掛酒造（長野県上田市）](#)
- [富山地方鉄道株式会社（富山県富山市）](#)
- [銀盤酒造（富山県黒部市）](#)
- [秩父鉄道株式会社（埼玉県熊谷市）](#)
- [武甲酒造（埼玉県秩父市）](#)
- [明知鉄道株式会社（岐阜県恵那市）](#)
- [岩村醸造（岐阜県恵那市）](#)



シナジー・相乗効果

- ローカル鉄道と沿線の活性化

老舗日本酒蔵
ラベルデザイン

自慢の純米酒
書道



沿線観光 温泉、地産品、古民家 etc

風景画

写真

和歌・俳句

映画

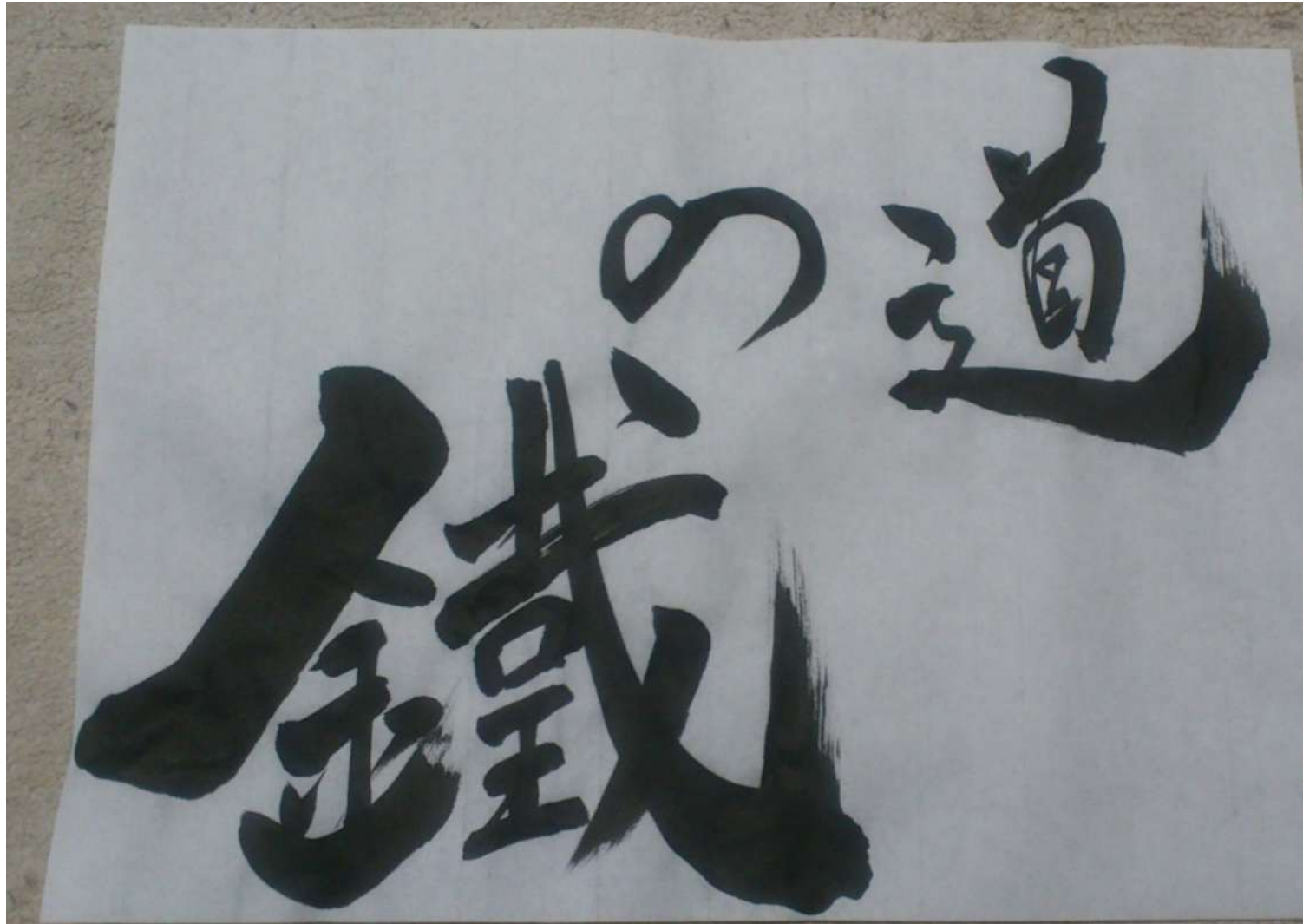
鐵の道

鐵の道

いすみ鉄道＊木戸泉酒造の「鐵の道」
大多喜高校書道部OBの揮毫



富山地方鉄道＊銀盤酒造の「鐵の道」
富山大学書道部の揮毫



しなの鉄道＊沓掛酒造の「鐵の道」 上田西高校書道部の揮毫



秩父鉄道＊武甲酒造の「鐵の道」 秩父農工科学高校書道部の揮毫



書道部

★新入生の皆さんへ★

活動内容

部員数	12名
活動場所	特別教室2
活動日	月曜日・水曜日・金曜日（4:00～5:30）
活動内容	展覧会出品作品制作 臨書作品制作 他
活動内容詳細	★ 日常の活動2010 ★ 日常の活動2011 ★ 書道の基礎知識1 ★ 書道の基礎知識2 ★ 書道の基礎知識3 ★ 道具について ★ 展覧会情報 ★ ギャラリー

0004405

明知鉄道＊岩村醸造の「鐵の道」

女城主 ゑなのほまれ

吟醸工房 岩村醸造株式会社

[| トップページ |](#) [マイアカウント](#) [ログイン](#) [| お問い合わせ |](#)

☞ 岩村醸造とは

☞ 会社概要

☞ 岩村町と女城主

☞ 過去の受賞暦

☞ 酒蔵見学のご案内

▼ ショッピングカテゴリ

■ [女城主](#)

■ [幻の城](#)

■ [ゑなのほまれ](#)

■ [その他](#)

■ [セット](#)

■ [酒器など](#)

岩村町と女城主



今尚残る歴史深い城壁

— 岩村城は日本名城100選に選ばれました —

岩村城は日本一の山城

岩村城は鎌倉時代（1185年）に源頼朝の家臣、加藤景康によって築城され、2代景朝より名字を遠山と改め、以後戦国時代まで400年間遠山家が統治しました。頂からは立ち並ぶ城下町が、また、四方の山々も一望することができます。

岩村城は天然の峻険な地形を利用した要害堅固な山城で、江戸諸藩の城の中では最も標高が高い721mの場所にあります。日本一標高の高い場所に建てられていることから、奈良県の高取城・岡山県の松山城と並ぶ日本三大山城の一つです。



「できる状況づくり」

視 点



ざとう・けんきち
1950年山形県鶴岡市生まれ。東京都立大学大学院（機械工学）修了。金属のフレットリング疲労の研究で工学博士（都立大）。この経験を風力発電や地域活性化に生かしソシオエンジニアリングを提唱。一般社団法人・鉄道を主宰し再生可能エネルギー利用と「鉄の道」を推進している。

千葉大学大学院准教授
佐藤 建吉

ローカル鉄道と沿線酒蔵が連携
地酒ブランド「鉄の道」で地域再生

『ローカル線と地酒のコラボレーション!! 全国共通銘柄「鉄の道」で沿線再生!!』

地域reづくりは、ひとづくり



ことづくり

鉄の道クラブ@洸楓座